

平成30年度 学校関係者評価報告書

大阪市立中大淀幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

本年度の幼稚園の自己評価結果は概ね妥当である。  
保護者アンケートの結果から、幼稚園は保育内容や様々な取組に対してきめ細かく指導・対応していると考えられる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「お子さんは幼稚園や家庭・地域などで非常災害が起こった時、自分の身を守る方法を知っていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」「幼稚園は地域の様々な人とのかかわりの機会を設け、いろいろな年代の人と触れ合うことができていますか」「子どもは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもてるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組みを分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては概ね妥当である。

○非常災害が起こった時に自分の身を守る方法について、幼い子ども達が理解するためには幼稚園での避難訓練等の取組も大切であるが、保護者自身が子どもをどのように守るか考えていく必要である。

○達成状況について数値化していくことは難しい。今後も保護者理解が進むようなホームページの活用やアプローチの工夫が必要である。

年度目標：【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「お子さんは正しい生活習慣（うがい・手洗い・早寝、早起きなど）が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。
- ・平成30年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう

思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で80%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

○生活発表会に参加する子ども達の姿から、一年間の園生活を通して成長したことが評価できる。

○徒歩で登降園し、親子で会話する時間をもつことができるような取組があっても良いのではないかな。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・年度目標に対して園内の取組を保護者理解につなげるための方策を考えて実践する。ホームページの作成や更新なども検討を進める。
- ・小学校増改築に伴う保育環境の変化にどのように対応・工夫するか検討し取り組んで欲しい。